

sc-PX1VL(参考)

1. 初回インク充填後(初回セットアップ)から初回交換までの消費量で新品1パックの印刷枚数を**想定**する。

(但し、Epson ライトグレー ICLGY96Iに限定する)

インク交換までに印刷した枚数は下記となります。**処分した用紙もありますので印刷枚数はだいたいですけど・・・。**

用紙規格	横(cm)	符号	縦(cm)	面積/枚	実施印刷枚数	実施印刷総面積
A2判	42.0	×	59.4	= 2494.8	×	5 = 12474.0 (cm <sup>2</sup> )
A3ノビ判	32.9	×	48.3	= 1589.1	×	記憶では → 6 = 9534.6 (cm <sup>2</sup> )
A2+A3ノビ面積-計	2494.8	+	1589.1	= 4083.9 (cm <sup>2</sup> /枚)		
印刷枚数の面積-計	12474.0	+	9534.6	= 22008.6 (cm <sup>2</sup> /実施)		

1)インク1パックで印刷可能な枚数

A-2換算	A2+A3n面積計	1枚当り面積	満タンインクP - 空インクP	= P内容量 (P・・・package)	諸条件:	PC/OS	・・・ windows10(Ver-1909)
	22008.6	/ 2494.8	= 8.8 (枚)		Soft	・・・ Photoshop CS5.5	
			121.0 - 74.0 = 47.0 (g)		Files	・・・ 風景(用紙全面余白あり)	
			初回充填後 - 空インクP = 残量		Paper	・・・ A-2絹目調(Epson)、A-3N光沢紙(Fuji)	
			87.0 - 74.0 = 13.0 (g)			(1/4カットしたものはA-3Nに含む)	
			初回残量 / 可能印刷枚数 = 枚数当たり容量		プリンタ設定 品質	・・・ 詳細(3もしくは4)	
			13.0 / 8.8 = 1.5 (g/枚)			・・・ ブラックエンハンス・オーバーコート	
			P内容量 / 枚数当たり容量 = 想定可能枚数			(あり、なしは半々)	
			47.0 / 1.5 ≒ <u>31.3</u> (枚/Package)				
A-3ノビ換算	A2+A3n面積計	1枚当り面積	満タンインクP - 空インクP	= P量 (P・・・package)			
	22008.6	/ 1589.1	= 13.8 (枚)				
			121.0 - 74.0 = 47.0 (g)				
			初回充填後 - 空インクP = 残量				
			87.0 - 74.0 = 13.0 (g)				
			初回残量 / 可能印刷枚数 = 枚数当たり容量				
			13.0 / 13.8 = 0.9 (g/枚)--A				
			P内容量 / 枚数当たり容量 = 想定可能枚数				
			47.0 / 0.9 ≒ <u>52.2</u> (枚/Package)				

2)ライトグレー交換時に廃棄用インクパックを交換

※あくまでも現時点(2020/9/30)のもので、印刷データ 印刷設定等の差異により違ってくるだろうと思います。  
又、少ない印刷枚数ですので各色新品を使い切ったからのデータから推測したほうが良いのでしょうか、現時点ではこれくらいしか出来ないことをご容赦願います。

PX-G5300(参考)

PX-G5300用のICM53(マゼンダ)満タンパッケージで何枚印刷できる?

A-3ノビ	満タンインクP - 空インクP	= P量 (P・・・package)
	32.0 - 21.0	= 11.0 (g)
	P量 / 一枚当り容量(A)=1P当たりの枚数(枚/P)	
	11.0 / 0.9	= 12.2 (枚/P)
		(↑は上の計算結果-A)

日頃、印刷枚数を記録していないので感覚とか覚えとかなんですが、こんなもんじゃないでしょうか。

※PX-G5300の場合、僕の環境では「シアン」が他のインクに対して2倍近く必要ですので、シアンに関しては7枚くらいかな?